

常任委員会 レポート

議員は、常任委員会に所属し、それぞれ調査研究を行っています。
研修・視察で知り得たことを、今後の議会活動に生かしていきます。

調査地／京都府久世郡久御山町・京都府京都市右京区 調査事項／役場庁舎のバリアフリーについて

太秦天神川駅周辺整備事業について

本町でも役場庁舎移設を検討中ですが、特に建物のバリアフリー化が重要です。平成十二年に庁舎を建設された久御山町へ研修に行きました。庁舎内は床を滑りにくくするなど、安全に配慮された構造となっており、特に議場は車椅子専用リフトや、聴覚障害の方のための補聴システムなど充実した機能を備えていました。

次に駅周辺の再開発の先進地である京都市太秦天神川駅周辺再開発事業を視察しました。駅前の0.9ヘクタールを再開発して右京区総合庁舎や図書館の公共施設と住宅の複合施設を建設されており、右京区の新しい拠点づくりとなっている点は、本町のまちづくりに取り入れられる面もあると感じました。また、太陽光発電や雨水利用、地中熱利用による外気処理システムなど環境にもやさしい庁舎となっており、大いに参考になります。

建設産業



福祉厚生

近年、人口の高齢化に伴い医療や介護費用の増大が大きな問題となつていきます。それを防ぐには、健康で長生きを目指して高齢者の社会参加や生きがい支援が必要となつてきます。早くからその対策に取り組んでこられた佐久市に研修に行きました。

佐久市は昭和三十九年当時では脳卒中死亡率が全国一位でしたが、市医師会との連携による各種保健事業と共に減塩運動や一部室温室運動、食生活改善運動などに取り組んだ結果、現在では全国でもトップクラスの長寿の市となつていきます。特に主婦を主とした保健補導員活動は、健康教育研修と市の保健事業で培ったものを家庭や地域で広めることで健康に対する意識の高揚に役立っています。本町でも大いに参考にすべきと感じました。

調査地／長野県佐久市 調査事項／健康長寿のまちづくりへの取組みについて

